

岐阜私教連が私学助成「学び直し」学習会を開催しました。「労働条件の改善は子どもたちの学ぶ権利の保障なのだ」という原則を確認する場となりました。署名集約数 10 万筆回復を目標に奮闘しています。



私教連ニュース 2023年11月1日第4号  
編集・発行  
岐阜県私立学校教職員組合連合  
〒500-8812  
岐阜市徹明通7-13 教育会館内  
TEL058-215-7401 FAX 058-215-7402

## 2023 岐阜私教連学習会開催！

10月28日(土)全国私教連委員長山口直之先生をお招きし、岐阜聖徳学園高校の学習室で私学助成の学び直し学習会を開催しました。富田単組、岐阜聖徳学園単組から10名が参加し、共に学び合うことができました。さらに、全私教共済の加入についてのお話もあり、有意義な時間を過ごすことができました。

「私学助成」について、その意義や教育基本法の記載内容、私学人として声を上げ続けることの重要性など、多くのことを再確認できました。

学習会の中から印象に残っていることをいくつかご紹介したいと思います。

- ・文科省では私学助成は必ず予算化しなければならないものではないため、声を上げ続ける必要がある

私学助成は毎年、文科省内で削減提案がされる項目だそうです。しかし、全国から寄せられる署名の力によってこれまで増額されてきています。この署名は、私たちのみならず、学生、生徒たちのためにも必要なもので、毎年声を上げ続けなければならない大切な運動です。

- ・ネット署名という声が聞こえるが、なぜ紙の署名を続けるのか

ネット署名の大半は要請署名で、これは、審議しなくてもよいものになります。しかし、私たちの署名は請願署名ですので、必ず審議しなければならないので、そこに大きな意義があります。

- ・教員の労働条件が悪化すると、子どもたちの学ぶ権利が悪化していく

私たちの労働条件が悪化すると、健康被害や教材研究など授業をはじめとして心の健康も徐々に害される可能性が高いです。そうすると、影響を受けるのは生徒たちであり、平等に学ぶ権利という観点では、先生の欠勤や長期休養によって満足に授業を受けられない可能性が出てきます。私たちは、健康に仕事ができるために、労働条件の整備に力を注ぐことを忘れてはなりません。

この学習会のレジュメをご希望の先生は宮村までご連絡ください。各校の私教連執行委員の先生にお声掛けいただくと、宮村まで連絡が届きます。今年も、署名活動頑張りましょう！

(文責:宮村)

## 秋は私学助成署名の季節～めざせ10万筆回復！～

今年も私学助成署名が本格的に始まりました。私たち私学人にとって大切な助成金です。岐阜の高校の公私格差は、公立全日制高校生＝104万8608円(公費負担＝税金)、私立高校生＝88万3251円。その差は**16万5357円**です。この差を少しでも埋めるべく、署名に名前を連ね国と県に請願していきましょう。現在、県知事提出は12月中旬で調整しています。国会向けは年明け1月末日を目途に署名を集めていきます。長丁場となりますが岐阜私教連一致団結して頑張ってください。みなさんよろしく  
お願いいたします。  
(文責:宮村)